

「偏見と差別について考える」

(3年 末吉英星)

最近よくコロナ禍という言葉を目にします。新型コロナウイルスの影響で船が1日2便に減便されたり、僕の大好きなBTSのライブが中止されたりしており、世界中が新型コロナウイルスによって目に見えない脅威にさらされています。日本でも、一斉休校の措置が取られた昨年2月前後から外出自粛が叫ばれてきました。西表島でも、初夏の5月は最高の観光シーズンであるにもかかわらず、島内を歩く観光客の姿がぱったりと消えてしまいました。僕がよく行っていた新八食堂も休業しており、活気と元気がありませんでした。日本経済新聞によると世界経済に最大940兆円の損失が生じる可能性があるそうです。

新型コロナウイルスは、ニュースなどでよく見るようにボールにブロッコリーが生えたような形をしており、スパイクという突起物が王冠のように見えることからコロナという名前がついたそうです。このウィルスは、一部の界面活性剤や80%程度のアルコール等で壊すことができるのですが、発症し重症化すると死に至る可能性もあります。沖縄県の6月9日時点での感染者数はのべ140人、死者の数は7人にも上ります。また、沖縄県知事の玉城デニーさんは5月29日の公式コメントで「段階的に観光客を受入に組み込むこと、6月19日から県外の観光客に対する誘う取組を実施していくこと」を発表しています。ここでみなさんに質問です。「これから西表島に島外からの観光客が来るのは賛成ですか、それとも反対ですか」外出自粛中に沖縄県へ来島してきた有名人を例に賛成か反対か考えてみてください。まず、4月の石田純一さんの例です。石田純一さんは、メディアで騒がれていたように、体調不良の自覚症状がありながら沖縄本島へ渡航し、仕事など用事を済ませて東京へ帰り、その後感染していたことがわかりました。みなさんはこの事例に対して賛成ですか、反対ですか。次に、新田真剣裕さんの例です。新田真剣裕さんは5月上旬に沖縄県に来島しました。体調不良の自覚症状はなく、普通に観光して帰ったそうです。今のところ、感染していたという情報はありません。この事例に対して、みなさんはどう思いますか。二人に対する世間の反応を簡単に述べれば、どちらの事例も多くの人が強く反対し、当人たちは謝罪することになりました。みなさんも同じ意見でしょうか。僕の考えは少し異なります。石田純一さんについては、多くの意見と同じように反対なのですが、新田真剣裕さんについては、賛成なのです。僕は適切な体調管理と正しい判断ができていて、つまり、自己管理ができている人はどんどん来るべきだと思うのです。とはいえ、賛成でも反対でも実際はどちらの意見も尊重されるべきだと思います。一方で先ほどの二つの事例で2名の行動の善悪は置いておき、その方々に対する偏見やSNSなどでの誹謗中傷には、大きな問題があるのだと思います。石田純一さんは、新型コロナウイルス感染症で苦しんでいる最中に「どうして沖縄に来た？」や「謝罪しろ」と言われたり、沖縄での感染拡大がまるで彼のせいのような誹謗中傷を受けました。有名人の例の他にも西表島では「わ」「れ」「ナンバーのいわゆるレンタカーが走っています。その車に乗っている人は本当に県外からの観光客なのでしょうか。レンタカーに乗っている人は感染者または、感染の確率が高いのだという勝手な決めつけから、ナンバーを写真に撮り、拡散する。このようなことが実際に起こりうるのです。」

行為の善悪にかかわらず、私たちが新型コロナウイルスに感染する可能性は皆同じです。「あいつが悪い」と他人を責めている場合ではないのではないかと思います。また、新型コロナウイルスに感染したとしても、偏見の目で見たり、いじめや差別の対象にすることを許してはいけなくないと思います。僕の母は看護師として働いています。母の同僚には「もしあなたが感染したら、学童では子どもを預かりません」と言われた人がいるそうです。母自身も勤務先から「病院と家しか行き来したらダメだ」と行動を制限されていたそうです。母のような医療従事者は様々なリスクを顧みず日々コロナ禍の中戦っています。母は「新型コロナウイルスの特徴を正しく理解して行動してほしい」と言っていました。さらに、情報社会の現代、正しい情報、誤った情報、一部は正しく、一部が誤りを含む情報が日々膨大な量のやりとりがなされています。僕たちのちょっとした一言が、相手を傷つけたり、必要以上にその人や周りの人を苦しめることにもなるかも知れません。それはまさに被害者にとっては、新型コロナウイルスとは別の目に見えない脅威になり得ます。私たちは気づかぬうちに差別していたり、それを見逃してしまっているのかも知れません。今一度、その見方・考え方に偏見は含まれていないか冷静に考え、苦しんでいる人がいたら、手を差し伸べてあげるなど、行動に移してみてもはどうでしょうか。コロナ禍の中で、観光客が来ることは、賛成か反対か考えることを通して、僕は島外や県外の人への偏見やそこからくる差別があることに気づかされました。僕は、これからたくさんの方に西表島に来てほしいです。

みなさんは、西表島に観光客が来るのは賛成ですか？それとも反対ですか？

(振り返り 末吉 英星)

スピーチを書くとき真輝先生に出すたびに枚数がどんどん増えて6枚になってしまっていました。次はいけど、もっと抑えたいなあと思いました。もっと真輝先生に頼らないでいきたいです。

プール清掃

11日(木)の放課後に上原小学校のプール清掃を行いました。毎年水泳の授業の前に実施しているもので、今回は9日(火)に予定していましたが、大雨警報発令中で延期になりました(雨天延期は「船中あるある」です)。今年は新型コロナウイルスの影響で水泳の授業が実施できるか心配しましたが、感染拡大防止措置を取りつつ、実施できる運びとなりました。安全面に最大限配慮し、生徒の体力・泳力の向上に努めていきたいと思います。

